

小山町観光振興計画
アクションプラン（案）
（令和2年度上半期分評価結果）



富士山頂と金太郎のまち おやま

令和3年1月

小 山 町

目次

I	小山町観光振興計画・アクションプランの概要	
1	小山町観光振興計画・アクションプランとは？	1
2	観光振興計画・アクションプランの体系と施策	1
II	実績評価の方法	
1	評価の方法	5
2	評価の基準	5
III	評価結果	
1	総括	6
2	基本方針別施策評価	
	【基本方針1】富士山交流観光プログラム	7
	【基本方針2】元気にぎわい観光プログラム	12
	【基本方針3】観光インフラ整備プログラム	19
IV	今後の課題	
1	各方針別の課題	25
2	新たな課題	25
3	未対応課題への対処	27
4	次期小山町観光振興計画及びアクションプランの策定	28

I 小山町観光振興計画・アクションプランの概要

1 小山町観光振興計画・アクションプランとは？

小山町は「富士山頂のあるまち・金太郎生誕の地」であり、世界文化遺産である富士山とその関連資産をはじめ、豊富な観光資源に恵まれています。

2019年には足柄SAにSIC*が設置され、2023年度までには新東名高速道路の整備や小山PAとSIC*の開設が予定されています。また、東京オリンピック・パラリンピックの自転車競技ロードレースの会場が小山町に決定しており、多くの外国人観光客も訪れる可能性があります。

本町では、このチャンスを生かすべく平成27年3月に「平成31年度の観光交流客数500万人」を目指す「小山町観光振興計画」を策定しました。

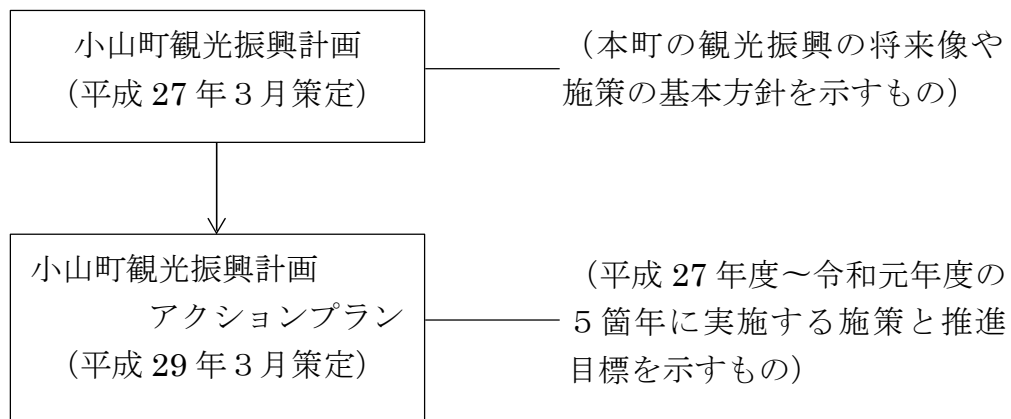
また平成29年3月には、「観光振興計画」に掲げた基本目標、基本方針及び具体的施策を着実に推進していくため、「観光振興計画アクションプラン」を策定し、79本の施策毎に具体的な取組や数値目標等を明らかに示しています。

*SIC:スマートインターチェンジ

2 観光振興計画・アクションプランの体系と施策

「観光振興計画アクションプラン」(以下アクションプランという)は平成27年度から令和元年度を計画期間とし、その間に実施する観光振興施策を示すものです。

アクションプランは、観光振興計画の体系に添って観光振興施策の内容を示しています。



観光振興計画体系図

(基本目標)

約430万人(平成25年度) ⇒ 500万人(令和元年度)

”小山町へおいで！ 世界から” 観光交流500万人プログラム

(具体的施策)

(1) 須走口五合目を再整備します

- ① (仮称)富士山須走口インフォメーションセンターの設置
- ② 駐車場の整備
- ③ 整備計画の推進
- ④ ふじあざみラインの道路改良の推進

(2) 登山者などへの対応を充実します

- ① 登山案内及び指導の強化
- ② 登山装備サービスの提供
- ③ 世界遺産案内板の設置
- ④ 須走ルートの魅力の紹介
- ⑤ 須走流登山スタイルの確立

(3) 須走口五合目散策コース・富士箱根トレイルを活用します

- ① 案内板の設置
- ② 散策ツアーの開催
- ③ 富士箱根トレイルの管理
- ④ コースの魅力の情報発信
- ⑤ ガイド付き散策ツアーの開催
- ⑥ 来訪時期や所要時間によるコースの設定

(4) 富士山の眺望スポットを整備します

- ① 富士山眺望スポットの充実
- ② 案内看板の整備・案内マップの作成

(5) 富士浅間神社の魅力を高めます

- ① 須走地区を富士山観光の拠点としたまちづくり
- ② 住民参加による観光地づくり
- ③ 富士浅間神社へのツアー誘客の強化
- ④ ボランティアガイドによる案内
- ⑤ 富士浅間神社のPR

(6) 富士山の環境保全を観光振興につなげます

- ① 景観条例の制定
- ② 富士山と調和する景観づくり
- ③ 富士山における環境学習の場の提供
- ④ マイカー規制の実施
- ⑤ 富士山環境ツアーの開催

(7) 美化活動を進めます

- ① 富士山清掃の実施
- ② 登山者マナーの向上

(基本方針1)

富士山交流観光プログラム

世界文化遺産に登録された富士山の文化、水と緑に恵まれた自然、抜群の景観を小山町のすばらしい観光資源として活用し、観光交流客数を増やします。

(基本方針2)

元気にぎわい観光プログラム

金太郎のように元気にぎわいのある町を目指し、自然や歴史、文化、施設など様々な観光資源を活用し、観光交流客数を増やします。

(具体的施策)

- (1) 金太郎をシンボルとした観光活性化を図ります
- ① 金太郎シンボルデザインを活用したPR
 - ② 金太郎商品のブランド化
 - ③ 金時公園の活用
 - ④ 金太郎を活用した広域連携の推進
 - ⑤ 相撲大会の開催
 - ⑥ 金太郎伝説ゆかりの地のPR・紹介

- (2) スポーツによる誘客を進めます
- ① スポーツ大会などの誘致・拡充
 - ② 合宿などの誘致
 - ③ 富士スピードウェイとの連携

- (3) 農のある暮らしにぎわいに活かします
- ① 農産物直売所の整備
 - ② 農家民泊の試み
 - ③ 農業体験の推進
 - ④ 林業体験の推進

- (4) 自転車による観光振興を進めます
- ① 自転車大会の拡充
 - ② 新たな自転車大会の開催
 - ③ 「サイクリストにやさしいまちづくり」の推進

- (5) 自衛隊との連携による観光振興を進めます
- ① 自衛隊イベントを通じた町のPR
 - ② 町内イベント等への参加依頼

- (6) 観光拠点を活用します
- ① 道の駅の活用
 - ② あしがら温泉等の活用
 - ③ 豊門公園等の活用

- (7) 新たな観光スポットを整備します
- ① ホタルの里づくり
 - ② 北郷の森の整備
 - ③ リゾート宿泊機能の誘致
 - ④ 産業観光の提供

- (8) ハイキングコースを活用します
- ① 足柄古道などの活用
 - ② 市町村連携によるハイキングコースの活用
 - ③ (仮称)おやま物語100選の作成・散策

- (9) ロケ地としての強みを活かし知名度を高めます
- ① ロケ地の発掘・整備と活用
 - ② 映画祭の開催
 - ③ ロケの誘致
 - ④ 民間組織の設立支援

(基本方針3)

観光インフラ整備プログラム

町の観光資源の魅力を最大限に引き出すために、情報・交通基盤の整備や広域連携の推進、観光客の受け入れ態勢の充実などの観光インフラの整備を行います。

(具体的施策)

(1) シティプロモーションの充実を図ります

- ① 旅行会社への観光資源の紹介
- ② 首都圏などで開催される展示会への参加

(2) おもてなし人材による着地型観光を充実します

- ① 観光ガイドの育成
- ② 次世代を担う人材の育成
- ③ 小山町観光検定の実施
- ④ 小山町観光親善大使の認定

(3) インバウンドへの対応を強化します

- ① プログラムの開発
- ② 外国人観光客へのおもてなしの充実
- ③ 外国語表記の充実
- ④ 東京オリンピック・パラリンピックに向けた環境整備

(4) 観光情報の基盤を整えます

- ① 総合的な観光情報の集約・管理
- ② Wi-Fiスポットの整備
- ③ ネット予約・決済環境の整備促進

(5) 観光交通基盤を整備・活用します

- ① 季節運行バスの利便性向上
- ② 小山PA/足柄SA周辺の整備
- ③ ユニバーサルデザイン化の推進

(6) 広域連携を推進します

- ① 広域ネットワークによる取り組みの推進
- ② 金太郎にちなんだ交流の活性化

(7) 特産品・名産品の充実を図ります

- ① 道の駅・足柄SA・小山PAにおける販売促進・PR
- ② 特徴ある商品を育成
- ③ インターネットを活用した販売促進
- ④ ロケ地を活用した特産品の販売促進
- ⑤ ご当地グルメの開発

(8) 小山町をエリアとしてアピール・ブランド化します

- ① 地域ブランドの構築
- ② ブランドイメージの確立

(9) 日本版DMO候補法人を設立し観光地域づくりを推進します

- ① 町内観光の実態把握
- ② 戦略的観光プロモーションの実施
- ③ DMO設立のための合意形成

II 実績評価の方法

1 評価の方法

アクションプランでは平成27年度を基準値とし、令和2年度を最終目標値として設定し、観光振興計画に示される具体的な施策の項目ごとに、その間の各年度の値を示しています。

アクションプランの進行管理として行う実績評価は、令和2年度における達成目標値に比べ、令和2年度上半期時点(令和2年9月末時点)でどの程度達成しているかを精査し、実績評価を行ったものです。

なお、このアクションプランの各施策に示した目標値は、平成27年度から5年間の計画で進めてきた観光振興計画の最終年度である令和元年度に達成すべき目標として明示しています。次期観光振興計画の始期を第5次小山町総合計画の施行に合わせるために1年間遅らせたことでアクションプランの目標年次に空白の1年間が発生しますが、1年間限定の目標値は敢えて設定せず、令和2年度中も令和元年度の目標値をそのまま用いることとします。

実績評価 (例示)

年度別目標(指標)	現状値 (29年度)	目標値 (令和元年度)	令和2年度上半期実績値 (令和2年度目標値)	備考(内訳等)	評価
観光交流客数 ※単年度達成型	414万人	500万人	108万人 (500万人)	観光レクリエーション客数107万人 宿泊客数1万人	遅延

※上段：令和2年度上半期実績値、下段カッコ内：令和2年度末目標値

※指標区分については、最終目標値を令和2年度に設定し、その目標に向かって達成していく「積み上げ型」と、単年度ごとに目標値を設定し、都度達成していく「単年度達成型」に分けられる。

2 評価の基準

以下に示す基準により、実績を評価しました。

評価区分	評価基準
順調	令和2年度上半期の実績が目標値(令和2年度半期分)に達しているもの又は、目標達成に向けて着実に成果が上がっているもの。
概ね順調	令和2年度上半期の実績は目標値(令和2年度半期分)に達していないが、今後も継続して取り組むことにより、目標達成が可能であると見込まれるもの。
やや遅延	令和2年度上半期の実績が令和元年度半期分より下回っており、目標達成に向けてより一層の取り組みが必要なもの。
遅延	令和2年度上半期の実績が令和元年度半期分より下回っており、目標達成が困難なもの。

未実施	財源が確保できない等の理由により、事業を実施しなかったもの。
準備中	令和2年度の目標達成に向け、調査、検討中であるもの。
評価不能	コロナウイルス感染拡大等の外的要因により、通常の評価が困難なもの。

Ⅲ 評価結果

1 総括

アクションプランの基本目標に掲げている観光交流客数は、令和2年度の目標値500万人に対して令和2年度上半期の実績で108万人となっており、令和元年度上半期実績値223万人と比べ大幅に減少しました。

昨年度末からの世界的な新型コロナウイルス感染拡大でオリンピック・パラリンピックが延期となり、町内観光行事はほぼ中止又は延期、インバウンドは来日自体が制限されるなど、79本の施策の大部分が大きな影響を受け、通常時と同様の評価は困難な状況です。

敢えて全体の進捗状況を数値化するとすれば、79本の施策の内、「順調」は(25)本、「概ね順調」は(5)本、「やや遅延」は(9)本、「遅延」は(10)本、「準備中」が(4)本、評価不能が(26)本となります。

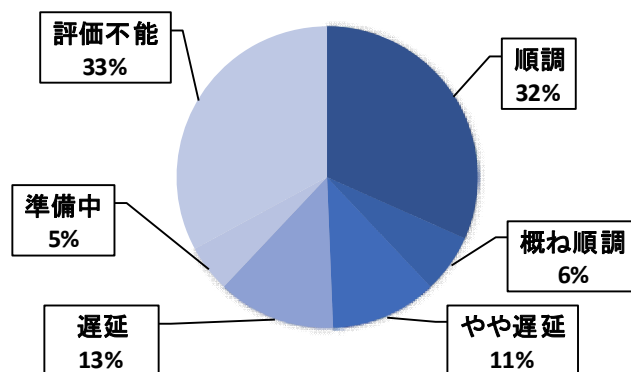
なお、今後はコロナウイルス収束の状況を常に見定め、ウィズコロナ、アフターコロナ下において有効な観光施策を展開していくことが重要と考えます。

小山町観光振興計画アクションプラン（基本目標）

年度別目標(指標)	現状値 (29年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値(2年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
観光交流客数 ※単年度達成型	414万人	500万人	108万人 (500万人)	観光レクリエーション 客数107万人 宿泊客数 1万人	遅延

< 施策進捗状況 >

評価区分	個数
順調	(25)
概ね順調	(5)
やや遅延	(9)
遅延	(10)
準備中	(4)
評価不能	(26)
合計	79



2 基本方針別施策評価

【基本方針1】富士山交流観光プログラム

具体的施策 21 本の内、「順調」は (5) 本、「概ね順調」は (0) 本、「やや遅延」は (6) 本、「遅延」は (1) 本、「準備中」は (0) 本、「評価不能」は (9) 本でした。

令和元年度の後半から新型コロナウイルスが世界的に流行し始め、令和2年は開山しないという前代未聞の事態にまで発展しました。富士山を最大の観光資源とする小山町にとって損害は計り知れませんが、今後の富士山交流観光発展には山小屋での3密対策が不可欠となることから、関係者間での連携を密に取り組んでいく必要があります。

世界文化遺産「富士山」を活用しての誘客にあたっては、コロナ渦にあっても須走口五合目へのアクセス道路となるふじあざみラインの改良工事を進め、来訪者受入のための環境整備に努めました。

また、登山客や観光客の活動拠点となる五合目インフォメーションセンターの整備については、環境省による園地としての位置づけが完了したことを受け、環境省や林野庁、静岡県等の関係機関や地元関係者との協議を進めているところです。

なお、富士登山ガイドでは、平成29年度に策定した小山町富士山須走口登山認定ガイド認定要綱の活用によりガイドの充実を図るべきところ、開しなかったことで新たな認定は行えませんでした。今後引き続き登山者に富士山の歴史、文化、自然等、須走ルート魅力を発信することにより、誘客促進につなげていきます。

富士登山以外でも、小富士遊歩道やまぼろしの滝遊歩道などを巡る五合目周辺の夏山開山期間以外の散策に向けた段階的規制について、静岡県等と協議を進めています。

1- (1) 須走五合目を再整備します

年度別目標(指標)	現状値 (29年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値 (元年度目標 値)	備考(内訳等)	評価
(仮称)富士山須走口イン フォメーションセンターの 設置、駐車場の整備、アプ ローチの改善 ※積み上げ型・時期 A	協議継続中 (環境省、県 等との協議)	センター設 置 駐車場整備 アプローチ 改善	協議継続中・ 測量、計画案 策定 (センター設置)	・環境省、林野庁、静岡 県、富士急行(株)等との 協議を継続 (今後の予定) R2年度 実施設計 R3年度 工事着手 R4年度 供用開始	やや遅延
ふじあざみラインの 道路改良の推進 ※積み上げ型・時期 A	10.8km ポス ト付近の改 良	道路改良の 推進	五合目付近 の改良工事 完成 (道路改良の 推進)	須走口五合目付近改良 工事完成	順調

1- (2) 登山者などへの対応を充実します

年度別目標(指標)	現状値 (29年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値(2年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
Wi-Fi 環境の整備 (設置箇所数) (富士山関連分) ※積み上げ型・時期 A	13 箇所	14 箇所	13 箇所 (14 箇所)	※開山せず ・五合目観光案内所 ・各山小屋(12 箇所)	評価不能
富士山ナビゲーターの配置 ※単年度達成型・時期 A	3 人	4 人	0 人 (4 人)	※開山せず ・外国語ナビ(4 人と契約し シフトにより 1~3 名配置)	評価不能
登山装備サービスの提供 ※積み上げ型・時期 B	登山装備の販売 レンタルの実施		五合目山小屋 で実施中	※開山せず 登山装備の販売・レンタル の実施中	評価不能
世界遺産案内版の設置 ※積み上げ型・時期 A	3 基	3 基	3 基 (3 基)	①富士浅間神社 ②ふじあざみライン入口	順調

				③須走口五合目	
須走ルートの魅力紹介 (「須走口において情報発信が行われている」と回答する町民の割合) ※単年度達成型・時期 A	35%	50%	26% (50%)	すばしりまちづくり協議会がシャトルバス内で須走の映像放映、独自パンフレット配布 町民アンケート R2年度結果 26%	やや遅延

1-(3) 須走口五合目散策コース・富士箱根トレイルを活用します

年度別目標(指標)	現状値 (29年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値(2年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
案内板の設置(小富士、まぼろしの滝への誘導看板) ※積み上げ型・実施時期 B	2基	2基	2基 (2基)	小富士、まぼろしの滝への誘導看板の設置継続	順調
散策ツアーの開催 (五合目周辺での開催回数) ※単年度達成型・時期 A	4回	5回	0回 (5回)	コロナで実施できず	評価不能
富士箱根トレイル管理 (管理団体数) ※単年度達成型・時期 A	8団体	11団体	8団体 (11団体)	①木の根会、②秀峰山岳会、③農協青壮年部、④生土明德社、⑤合同会社金太郎、⑥史跡を守る会、⑦中島区、⑧桑木区(新柴区)	やや遅延
ガイド付き散策ツアーの開催 (富士箱根トレイル等での開催回数)※単年度達成型・時期 A	4回	4回	0回 (4回)	コロナで実施できず	評価不能
来訪時期や所要時間による コース設定(コース設定数)※ 積み上げ型・時期 B	設定中	4コース	1コース整備 (4コース)	1コース整備済み 一部変更について調整継続中	やや遅延

1-(4). 富士山の眺望スポットを整備します

年度別目標(指標)	現状値 (29年度)	目標値 (2年度)	2年度実績値 (2年度目標 値)	備考(内訳等)	評価
富士山眺望スポットの充 実(眺望スポット箇所数) ※積み上げ型・時期 A	調査中	6箇所	4箇所 (6箇所)	観光パンフレットに眺望ス ポットを4箇所掲載(誓い の丘、足柄峠、金時山、ふ じあざみライン)	やや遅延

1-(5). 富士浅間神社の魅力を高めます

年度別目標(指標)	現状値 (29年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値(2年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
須走地区を富士山観光 拠点としたまちづくり ※積み上げ型・時期 A	須走地区金太郎計画 2020 推進協議会との 協働による観光地づくりの推進			巡拝の道の紹介映像制 作、お山開き・お山終い式 典実施 すばらしり隊による養成講 座も実施(全7回)	順調
ボランティアガイドによる 案内(案内回数) ※単年度達成型・時期 A	3回	5回	0回 (5回)	①御来光ウォーク(7/1) ②姉妹都市学習(8/5) ③足柄千年古道ハイキン グ(9/8 中止)	やや遅延

1-(6). 富士山の環境保全を観光振興につなげます

年度別目標(指標)	現状値 (29年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値(2年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
景観条例の制定 ※積み上げ型・時期 A	施行	施行	施行 (施行)	景観計画を策定し、富士 浅間神社区域や国道 138 号沿線区域を重点区域に 指定して景観保護に努め た	順調
富士山と調和する景観づ くり(「富士山をはじめとし た豊かな自然環境を活か した美しいまちづくりがで きている」と回答する町民 の割合)	51%	70%	44% (70%)	R2年度町民アンケート	遅延

※単年度達成型・時期 C					
富士山における環境学習 の場の提供 ※積み上げ型・時期 B	須走口の自然の豊かさなどを学べる機会の 提供			姉妹都市富士登山学習と して環境学習を開催予定 だったが、コロナで中止	評価不能
マイカー規制の実施 ※単年度達成型・時期 A	63 日間 (全日)	63 日間 (全日)	開山せず (全日)		評価不能

1-(7). 美化活動を進めます

年度別目標(指標)	現状値 (29 年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値(2年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
富士山清掃の実施 (環境美化・啓発活動 実施回数) ※単年度達成・時期 A	6 回	4 回	1 回 (4 回)	①国道 138 号須走地区 景観ワークショップ(国交 省・須走まちづくり推進協 議会)	評価不能
登山者マナーの向上 ※単年度達成型・時期 A	パンフレットなどを活用した登山マナーの啓 発			開山しなかったため実施 せず	評価不能

【基本方針2】元気にぎわい観光プログラム

具体的施策 31 本の内、「順調」は (10) 本、「概ね順調」は (1) 本、「やや遅延」は (2) 本、「遅延」は (5) 本、「準備中」は (3) 本、「評価不能」は (10) 本でした。

新型コロナウイルスの感染拡大により、自転車レースを始めとする各種イベントが軒並み中止又は延期となり、にぎわい創出が非常に難しい状態に陥っています。

金太郎の生家跡地にある金時公園のリニューアル工事が平成 29 年度末に完成しており、これを機会に「金太郎生誕の地」を広く P R し、多世代交流広場として町内外からの誘客促進を図り、認知度を向上させます。すでに平成 3 0 年度からに「わんぱく相撲静岡県大会」が開催されています。

地域資源の活用としては、農林業体験や農家民泊、合宿誘致等、試行的事業を行いその仕組みづくりに取り組んでいるところであり、小山町ならではの滞在型観光を企画していきます。

自転車のまちづくりについては、ふじあざみラインを活用したヒルクライムレースの開催、自転車愛好家団体によるガイドライド付きのサイクリングを開催し、「サイクリストにやさしいまち」を P R し誘客に努めているところです。また、道の駅「すばしり」では、指定管理者の協力で e バイク 4 台を導入しレンタサイクルの運用を開始しました。

また、フィルムコミッションでは、近隣の市町がロケ支援の取組を始めたことや、町内施設の整備更新に伴い、ロケ地としての活用が徐々に難しくなっていることから、ロケ地の発掘や新たな誘致策を検討していきます。

2-(1). 金太郎をシンボルとした観光活性化を図ります

年度別目標(指標)	現状値 (29年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値(2年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
金太郎シンボルデザインを活用したPR(外部使用件数) ※単年度達成型・時期 A	13 件	16 件	32 件 (16 件)	①金太郎勝バーガー(富士箱根伊豆ガイド協会) ②道の駅ふじおやま限定サイダーラベル(道の駅ふじおやま) ③地域振興券(商工会) ④オリジナルタオル(あしがら温泉) ⑤プレミアム商品券(商工会) 他工事看板等 27 件	順調
金時公園の活用(整備) ※積み上げ型・時期 B	工事完了	活用	活用 (活用)	富士山金太郎春まつり・JC わんぱく相撲御殿場小山場所はコロナで開催せず	順調
金太郎を活用した広域連携の推進(金太郎をテーマとしたイベント回数) ※単年度達成型・時期 B	検討中	1 回	検討中 (1回)	金太郎終焉の地である勝央町と町民交流事業を検討中(子供の相撲交流、スポーツ合宿、物産展への出店など)	準備中
相撲大会の開催 (開催回数) ※単年度達成型・時期 A	1 回	1 回	0 回 (1 回)	①富士山金太郎春まつりこども相撲大会(中止) ②角取神社奉納相撲大会(中止)	評価不能
金太郎伝説ゆかりの地のPR・紹介(「金太郎生誕の地おやまのPRが行われている」と回答する町民の割合) ※単年度達成型・時期 A	51%	60%	46% (60%)	令和2年度町民アンケート	遅延

2-(2). スポーツによる誘客を進めます

年度別目標(指標)	現状値 (29年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値(2年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
スポーツ大会などの 誘致・拡充(ゴルフ大会開 催回数) ※単年度達成型・時期 B	4回	4回	0回 (4回)	①町民スポーツ祭(春、 夏)中止 ②町内ゴルフ場ハーフコ ンペ(中止) ③南足柄市民ゴルフコン ペ(中止)	評価不能
合宿などの誘致(合宿件 数) ※単年度達成型・時期 B	調査中	29年度調査 に合わせ目 標を設定	誘致中 (目標設定)	・大嶽部屋に合宿誘致 中 ・民間で多数実施	準備中
富士スピードウェイとの 連携(出展回数) ※単年度達成型・時期 A	12回	12回	1回 (12回)	①GT500km レース(延 期) ②富士 SUPERTEC24H レース(9/4~9/6)※小 山町モータースポーツ協 力会でおもてなしイベン ト開催 ③SUPER GT(8/8~9) 無観客で実施 ④K-4 GP(中止) ⑤富士チャレンジ 200 (中止)	評価不能

2-(3). 農のある暮らしをにぎわいに活かします

年度別目標(指標)	現状値 (29年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値(2年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
農産物直売所の整備 (出荷者数) ※単年度達成型・時期 A	186人	150人	178人 (150人)	ふじおやま 136人 すばしり 27人 マックスバリュー小山 15人 合計 178人	順調
農家民泊の試み ※積み上げ型・時期 C	検討中	農家民泊の 仕組みづくり	1軒 (農家民泊の 仕組みづくり)	下小林で1軒営業中	概ね順調

農業体験の推進 (農業体験件数) ※単年度達成型・時期 A	5 件	6 件	0 件 (6 件)	①田植え体験(中止) ②トウモロコシ収穫体験 (中止) ③稲刈り体験(中止)	評価不能
林業体験の推進 ※積み上げ型・時期 B	地元団体や DMOにより 実施	林業体験の 機会創出	地元団体によ り実施 (林業体験の 機会創出)	・北郷創林隊による、小 学生 70 人を対象とした、 下草刈りと竹飯作り活動 を実施	順調

2-(4). 自転車による観光振興を進めます

年度別目標(指標)	現状値 (29 年度)	目標値 (2 年度)	2 年度上半期 実績値(2 年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
自転車大会の拡充 (サイクルイベント参加者 数) ※単年度達成型・時期 A	2,927 人	5,000 人	40 人 (5,000 人)	・キッズバイクレース(中 止) ・ブリジストンサイクリング 自転車交流(中止) ・ツアー・オブ・ジャパン (中止) ・富士山国際ヒルクライム (中止) ・富士チャレンジ 200 (中止) ・サイクルクリニック(40 人)	評価不能
新たな自転車大会の開催 (開催回数) ※単年度達成型・時期 C	5 回	6 回	0 回 (6 回)	①ツアー・オブ・ジャパン (中止) ②富士山ヒルクライム(中 止) ③富士山国際ヒルクライ ム(中止) ④富士チャレンジ 200(中 止)	評価不能

「サイクリストにやさしいまちづくり」の推進 (サイクルベンチ・ラックの設置箇所数) ※積み上げ型・時期 A	15 箇所	13 箇所	17 箇所 (13 箇所)	①町の駅、②道の駅ふじおやま、③道の駅すばしり、④橋本屋商店、⑤セブン小山、⑥セブン谷戸、⑦セブン菅沼、⑧セブン須走東、⑨ローソン須走口、⑩ローソン須走東、⑪足柄峠、⑫誓いの丘、⑬あしがら温泉、⑭宮上駐車場、⑮ベルベ ⑯文化会館、⑰健康福祉会館	順調
---	-------	-------	------------------	---	----

2-(5). 自衛隊との連携による観光振興を進めます

年度別目標(指標)	現状値 (29 年度)	目標値 (2 年度)	2 年度上半期 実績値(2 年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
自衛隊イベントを通じた町のPR(イベント出展回数) ※単年度達成型・時期 A	2 回	1 回	0 回 (1 回)	①開校 66 周年記念行事(7/3) ②総合火力演習(5/23) 一般公開せずに実施	評価不能
町内イベントへの参加依頼(参加回数) ※単年度達成型・時期 A	3 回	4 回	0 回 (4 回)	①道の駅すばしり 9 周年祭(4/11~12)依頼せず ②富士 SUPERTEC24H レース(9/4~9/6)依頼せず ③富士山金太郎夏まつり支援(中止)	評価不能

2-(6). 観光拠点を活用します

年度別目標(指標)	現状値 (29 年度)	目標値 (2 年度)	2 年度上半期 実績値(2 年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
道の駅「すばしり」の活用(利用者数) ※単年度達成型・時期 A	402 千人	429 千人	122 千人 (429 千人)	レジ通過人数、レストラン利用者総数 参考(R 元年度 212 千人)	遅延
道の駅「ふじおやま」の活用(利用者数) ※単年度達成型・時期 A	636 千人	704 千人	233 千人 (704 千人)	レジ通過人数、レストラン利用者総数 参考(R 元年度 329 千人)	やや遅延

あしがら温泉の活用 (利用者数) ※単年度達成型・時期 A	163 千人	144 千人	37 千人 (144 千人)	入浴者数 参考(R 元年度 88 千人)	遅延
豊門公園等の活用 (イベント開催回数) ※単年度達成型・時期 A	2 回	3 回	1 回 (3 回)	①豊門公園マーケット (9/6)	やや遅延

2-(7). 新たな観光スポットを整備します

年度別目標(指標)	現状値 (29 年度)	目標値 (2 年度)	2 年度上半期 実績値(2 年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
ホテルの里作り (整備箇所数) ※積み上げ型・時期 B	5 箇所	5 箇所	5 箇所 (5 箇所)	①湯船あさかえ園 ②中島八重桐の池 ③上野(公民館裏側) ④総合文化会館 ⑤上野(県道南側)	順調
北郷の森の整備 (観光イベント開催数) ※単年度達成型・時期 B	1 回	1 回	1 回 (1 回)	地元小学生の下草刈り・ 竹飯づくり体験(6/6)を実施 (北郷創林隊)	順調
産業観光の提供(工場 見学等可能企業数) ※単年度達成型・時期 A	10 件	10 件	10 件 (10 件)	①(株)ジーシー富士小山 工場 ②四国化工機(株)富士 小山食品工場③(株)日 立ハイテクサイエンス小 山事業所 ④三菱マテリアル(株)三 田工場 静岡 DBA センタ ー ⑤ユニバーサル製缶(株)富士 小山工場 ⑥F・E・T パワークラフト (株) ⑦(株)吉田製作所富士小 山本社工場 ⑧(有)野木製作所 ⑨山本シーリング工業 (株)富士工場(町内団体 のみ可能)	順調

				⑩(株)リンガーハット富士 小山工場(町内団体のみ 可能)	
--	--	--	--	-------------------------------------	--

2-(8). ハイキングコースを活用します

年度別目標(指標)	現状値 (29年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値(2年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
足柄古道などの活用 (ツアー開催回数) ※単年度達成型・時期 A	2回	2回	0回 (2回)	各種ツアー中止	評価不能
市町村連携によるハイキ ングコースの活用(広域的 なハイキングコースの設定 数) ※単年度達成型・時期 A	1コース	2コース	1コース (2コース)	足柄古道ハイキングコー ス(南足柄市)	遅延
(仮称)おやま物語 100 選の作成 ※積み上げ型・時期 B	町内の逸話 等 情報収集	(仮称)おや ま物語作成	情報収集 (おやま物語 作成)	小山町ならではの逸話 (小話)の情報収集	準備中

2-(9). ロケ地としての強みを活かし知名度を高めます

年度別目標(指標)	現状値 (29年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値(2年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
ロケ地の発掘・整備と活 用 ※積み上げ型・時期 A	ロケ地マップ を作成	ロケ地マッ プの作成、 活用	ロケ地マップ を作成・活用 (ロケ地マップ の作成、活 用)	FCのHP上にて、ロケ地 の紹介を行っている	順調
映画祭の開催(開催回数) ※単年度達成型・時期 A	1回	3回	0回 (3回)	小山ムービーキャンプ中 止	評価不能
ロケの誘致(ロケ数) ※単年度達成型・時期 A	137本	250本	36本 (250本)		遅延
民間組織の設立支援 ※積み上げ型・時期 B	支援継続	支援継続	支援継続 (支援継続)	支援継続	順調

【基本方針3】観光インフラ整備プログラム

具体的施策 27 本の内、「順調」は (10) 本、「概ね順調」は (4) 本、「やや遅延」は (1) 本、「遅延」は (4) 本、「準備中」は (1) 本、「評価不能」は (7) 本でした。

新型コロナウイルスの流行により各種行事が軒並み中止となり、プロモーション活動に大きな支障が出ました。

広域ネットワークの取組として、平成 30 年度から令和 2 年度にかけて、JR グループ 6 社と静岡県及び県内 35 市町の自治体、観光事業者らが協働で全国展開する大型観光企画（デスティネーションキャンペーン）を実施しました。これを契機に、アフターコロナに向けて地域資源を活用した着地型旅行企画を商品化するために、観光事業者等への PR 活動をさらに進めていきます。

3-(1). シティプロモーションの充実を図ります

年度別目標(指標)	現状値 (29 年度)	目標値 (2 年度)	2 年度上半期 実績値(2 年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
旅行会社への観光資源 の紹介(プロモーション 実施回数) ※単年度達成型・時期 A	5 回	4 回	0 回 (4 回)	各種商談会中止	評価不能
首都圏などで開催され る展示会への参加(展 示会等への参加回数) ※単年度達成型・時期 A	14 回	12 回	0 回 (12 回)	①富士 GT500Km レース (延期) ②富士のふもと大博覧 会(中止) ③夏山フェスタ(中止) ④富士学校開校記念観 光 PR(規模縮小) ⑤K4 グランプリ(中止) ⑥総合火力演習観光 PR (規模縮小)	評価不能

3-(2). おもてなし人材による着地型観光を充実します

年度別目標(指標)	現状値 (29年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値(2年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
観光ガイドの育成(観光 ガイド者数) ※積上げ型・時期 A	17人	30人	46人 (30人)	富士山須走口登山認定ガ イド 36人 クアオルト専任ガイド 10 人	順調
次世代を担う人材の 育成(インターンシップ職 場体験の受入数) ※単年度達成型・時期 A	8人	30人	4人 (30人)	町全体で高校生 124人	遅延
小山町観光検定の実施 (実施回数) ※単年度達成型・時期 B	観光検定制 度の検討中	観光検定数 2回実施	検討中 (2回)	観光検定制度の検討中	準備中
小山町観光親善大使の認 定(認定数) ※単年度達成型・時期 A	1人	1人	0人 (1人)	大使就任調整中(大嶽部 屋親方)	やや遅延

3-(3). インバウンドへの対応を強化します

年度別目標(指標)	現状値 (29年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値(2年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
プログラムの開発 (モニターツアーの参加者 (社)数) ※単年度達成型・時期 B	19者	5者	10者 (5者)	・大学コンソーシアム 10 人 (県立大学)	順調
外国人観光客へのおもて なしの充実(セミナー開催 数) ※単年度達成型・時期 B	1回	2回	0回 (2回)		遅延
外国語表記の充実(「町内 の観光施設等で外国語表 記が充実している」と回答 する町民の割合) ※単年度達成型・時期 A	20%	50%	21% (50%)	令和2年度町民アンケート	遅延
外国語表記の充実(町 ホームページの多言語	継続	継続	継続 (継続)	・町ホームページについて 多言語化(104言語)を継 続中	順調

化) ※積み上げ型・時期 A				・観光情報を多言語で提供できるサービスを一部導入	
-------------------	--	--	--	--------------------------	--

3-(4). 観光情報の基盤を整えます

年度別目標(指標)	現状値 (29年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値(2年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
総合的な観光情報の集約・管理(観光サイトアクセス件数) ※単年度達成型・時期 A	29,798 件	50,000 件	57,237 件 (50,000 件)	町ホームページ(観光ページ)アクセス数	順調
Wi-Fi スポットの整備 (観光施設での整備箇所数) ※積み上げ型・時期 A	15 箇所	19 箇所	18 箇所 (19 箇所)	①五合目観光案内所 ②道の駅ふじおやま ③道の駅すばしり ④山小屋 12 件 ⑤須走温泉天恵 ⑥富士スピードウェイ ⑦総合文化会館	概ね順調
ネット予約・決済環境の整備促進 ※積み上げ型・時期 C	宿泊施設等でネット予約・決済ができる環境整備の促進 (民間の宿泊施設で整備されており、一部の商工業者では PayPay 等の決済システムを導入済。道の駅でもカード決済可能となっている)				概ね順調

3-(5). 観光交通基盤を整備・活用します

年度別目標(指標)	現状値 (29年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値(2年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
季節運行バスの利便性向上(乗車人数) ※単年度達成型・時期 B	10,205 人	10,000 人	196 人 (10,000 人)	・明神峠(駿河小山～明神峠) 179 人 ・足柄峠(足柄駅～足柄峠) 17 人 ・登山バス(御殿場～富士山) 0 人 ・ハイキングバス(御殿場～富士山) 0 人 ・湘南(新松田～富士山) 0 人	評価不能

小山PA/足柄SA周辺の整備(国際観光ホテルの施設数) ※積み上げ型・時期 B	1 施設	4 施設	4 施設 (4 施設)	・富士美華ホテル ・ホテルジャストワン富士 小山 ・富士ざくらホテル ・大都富士リゾートホテル	順調
ユニバーサルデザイン化の推進 ※積み上げ型・時期 A	観光施設等についてユニバーサルデザイン化の推進			ふじのくにユニバーサルデザイン行動計画に基づき整備	順調
JR 足柄駅舎の改築	検討中	事業着手	供用開始 (実施設計完了)		順調

3-(6). 広域連携を推進します

年度別目標(指標)	現状値 (29 年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値(2年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
広域ネットワークによる取り組みの推進 ※積み上げ型・時期 A	広域ネットワーク組織による取り組みの強化			・表富士観光キャラバン ・国道 138 号沿線観光広域連携協議会 ・富士山五口協議会 ・富士地区観光協議会 (H30～R2 デスティネーションキャンペーンに参加) ・東部コンベンションビューロー	順調
金太郎にちなんだ交流の活性化(交流回数) ※単年度達成型・時期 A	4 回	8 回	0 回 (8 回)	①富士山金太郎夏まつり (中止) ②南足柄市金太郎まつり (中止) ③姉妹町等富士登山交流 (中止)	評価不能

3-(7). 特産品・名産品の充実を図ります

年度別目標(指標)	現状値 (29 年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値(2年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
道の駅・足柄 SA・小山 PA における販売促進・PR ※積み上げ型・時期 A	特産品のPRのため、各施設に特産品コーナーを設置			・道の駅ふじおやま ・道の駅すばしり	順調

インターネットを活用した販売促進(特産品サイトアクセス件数) ※単年度達成型・時期 A	3,517 件	4,500 件	2,384 件 (4,500 件)	町ホームページ特産品サイトアクセス件数	順調
ご当地グルメの開発 ※積み上げ型・時期 B	町内産食材を活用したメニューの開発		町内産食材を活用したメニューの開発	・道の駅ふじおやまで地元米粉を使ったバウムクーヘンを販売 ・クアオルト弁当を販売 ・商工会女性部が金太郎ゆめ春巻きを試作中	概ね順調

3-(8). ” 小山町 ” をエリアとしてアピール・ブランド化します

年度別目標(指標)	現状値 (29 年度)	目標値 (2 年度)	2 年度上半期 実績値(2 年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
地域ブランドの構築 (商工会優良推奨品数) ※積み上げ型・時期 B	14 品	30 品	12 品 (30 品)	①金太郎サブレ ②山そだち(生わさび入り 最中) ③金太郎の熊どら ④金時せんべい ⑤金太郎トマト ⑥金太郎だんご 他 6 件	遅延
ブランドイメージの確立 ※積み上げ型・時期 B	商工会優良 推奨品の設 置	外部への P R	優良推奨品 の PR、販売 (外部への PR)	12 品の優良推奨品を設 置し、パンフレットを作成 優良推奨品のロゴマーク を作成し、販売店にはロゴ マーク入りの登り旗を掲示 各種イベントにて優良推 奨品の PR・販売を実施	概ね順調

3-(9). 日本版DMO法人を設立し観光地域づくりを推進します

年度別目標(指標)	現状値 (29年度)	目標値 (2年度)	2年度上半期 実績値(2年度 目標値)	備考(内訳等)	評価
町内観光の実態把握 (旅行消費額、外国人宿泊数等) ※積み上げ型・時期 A	調査中	継続的なデータ収集・分析	— (継続的なデータ収集・分析)	DMOを設立しないことに方針転換した	評価不能
戦略的観光プロモーションの実施 ※積み上げ型・時期 A	検討中	事業実施	— (事業実施)	DMOを設立しないことに方針転換した	評価不能
DMO 設立のための合意形成 ※積み上げ型・時期 A	DMO 準備室の設立	法人化	— (法人化)	DMOを設立しないことに方針転換した	評価不能

IV 今後の課題

小山町の観光を巡る状況は日々進展しており、現在の観光振興計画、同アクションプランに加え、以下の状況への対応も必要とされるところです。

1 各方針別の課題

本町の観光振興のため、アクションプランの着実な推進が求められますが、3本の基本方針別に以下の課題があります。

(1) 基本方針1「富士山交流観光プログラム」について

富士山観光の拠点となる（仮称）富士山須走口インフォメーションセンターの設置と周辺整備、ボランティアガイドの充実、富士山と調和する景観づくりにより、世界文化遺産「富士山」を世界に向けて発信することが望まれます。

(2) 基本方針2「元気にぎわい観光プログラム」について

金太郎自体についてさらに深いアピールコンテンツを充実するとともに、金太郎生誕の地のPR、自転車大会の拡充と映画祭の開催について、町民や各種団体等の協力によるところが大きいですが、支援の充実による実施が望まれます。町主催映画祭についても、昨年度に1回開催しましたが、今後も継続して複数回開催していくことが望まれます。

(3) 基本方針3「観光インフラ整備プログラム」について

海外や首都圏でのプロモーションの実施促進、外国語表記の充実、金太郎にちなんだ交流機会の充実について、対外的アピールの強化を図る狙いがあり、また2020年に向けてサイクリストのためのインフラ整備等も早急な対応が望まれます。

重要な情報発信手段である小山町の観光サイトのアクセスは昨年度に比べると増加傾向にありますが、小山町公認インスタグラマーによる積極的な情報発信、外国人観光客のアクセスが多い国際観光サイト（LonelyPlanet・Japan-guide.com等）やふるさと納税サイトなどのサイトとリンクすることによって、更なるアクセス数の増加が期待されます。また、新規に整備した駿河小山駅周辺施設の活用、昨年秋季の台風により大きな被害を受けた富士箱根トレイルロードを早期に修復し、健康づくりの手段として活用していくことが望まれます。

2 新たな課題

(1) 新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルスの蔓延により町を訪れる観光客、特にインバウンドが激減しています。事態終息の兆しは一向に見られず、世界的な混乱の長期化は避けられない状況にあります。町内の観光施設にも影響が出ており、営業を休止した宿泊施設もあります。

状況が刻々と変化する中、被害の全貌を現段階で掴むことは非常に困難ですが、最新の情報を常に収集し、時点毎の検証を重ね、事態が収束した際にはいち早く通常時の交

流客水準に戻す対策を今から立てておく必要があります。

また今後は、観光振興についても危機管理の考え方を基礎とする取り組みが不可欠となります。その視点において、観光客の安全安心確保、観光産業の事業継続施策などの課題に取り組む必要があります。

(2) 来訪者をもてなす受入環境の整備

平成30年度から令和2年度にかけて、JRグループ6社と静岡県及び県内35市町の自治体、観光事業者らが協働で全国展開する大型観光企画（デスティネーションキャンペーン）が実施されています。このイベントを機会に、多くの観光客を誘致し継続的な集客につなげるため、来訪者をもてなす観光ガイドの養成や、現地での体験型観光メニューの企画など、地域資源を最大限に活用した受入環境の整備を進めることが急務となっています。

令和元年度はDC（デスティネーションキャンペーン）本番の年で、観光事業者向けの観光地の紹介やJRの特別列車によるツアー等も開催されました。これらの機会を利用した環境整備が望まれます。

(3) インバウンド対応プログラムの充実

オリンピック・パラリンピック大会における小山町での自転車競技ロードレースの開催もあり、従来をはるかに上回る勢いで増加する外国人観光客の受入体制を充実する必要がありますが、コロナウイルスの影響により先行きは不透明です。小山町では増加傾向にあるインバウンド客や多様化する旅行者ニーズへの対応として、町ホームページや一部の観光地の案内がスマートフォン等で多言語対応されており、また道の駅ふじおやまのレストランも多言語オーダーシステムを導入しています。今後は、外国人観光客に対応するための接客研修や外国語標記の充実などをはじめとして、事業者や地域住民、行政が一体となった更なる展開が望まれます。特に団体客から個人客へのシフトが進んでおり、この需要把握と適切なプログラム提供が望まれます。

(4) DMOについて

小山町の観光振興を推進する一つの手法として、DMO組織を確立するために準備室を立ち上げて活動してきました。これは、様々な制約により従来の観光協会組織だけでは取り組めなかった事業に着手できる環境を整えることが目的であり、これまで資料収集や調査、各種PR活動、セミナー開催などを実施してきましたが、行政の関わり方が不十分だったこともあって観光協会との棲み分けを明確にできず、地域内関係者への制度浸透も想定どおりに進まなかったことから、結果として観光協会とDMOを共存させていこうという町の方針を抜本的に見直さざるを得ない状況になっています。

以上のことから、今後は既存の観光協会の体制強化が急務です。具体的には、これまでDMO設立準備の中で調査研究してきた、既存インフラを活かした着地型旅行商品や新たな滞在型観光メニューなどの醸成を協会が継承し、自ら“稼ぐ”ことができるコンテンツを持った協会へ変革することで、町からの助成金に大きく依存している現状からの脱却を図り、各事業の実施主体となれる組織に生まれ変わることが重要です。

3 未対応課題への対処

全体的な流れとして、インバウンドの形態が団体から個人に移行してきていること、特に最多の入込客である中国からの来訪者については、買い物を最大の目的とした従来の画一的な旅行コースから、旅先での様々な現体験を目的とする旅行に趣向が変わりつつあること、これらの変化に町の受け入れ体制やスマホ対応が追いついていないという課題が浮き彫りとなってきています。以下に個別項目毎の具体的な対処を示します。

(1) 観光ガイドの育成とシステムづくり

小山町には、有料のガイドとボランティアガイドで組織する「小山観光ガイド連携協議会」がありますが、富士登山など専門的な案内をする団体や町内観光スポットやハイキングコース、史跡等を案内する団体など活動内容や専門分野は様々であり、来訪者のニーズに合った活動が出来ていません。

平成29年度に富士山須走口への来訪を促進するための「小山町富士山須走口登山認定ガイド認定要綱」を策定し、36名のガイドを認定しましたが、その他のガイドには認定制度等は未だ制定されていないため、今後のインバウンド対応も含め、来訪者のニーズに応えるガイドのシステムづくりが望まれます。

(2) ご当地グルメ・土産物の開発

小山町には、一年を通したご当地グルメや土産物となる商品が乏しい状況です。

現在、商工会女性部が「金太郎ゆめ春巻き」の商品化を検討しているところですが、更なる開発が必要です。

また、健康づくりを目的とした「クアオルト健康ウォーキング」の開催に伴い、地元産品を使った「クアオルト弁当」を開発し、地元産米粉を使用したバウムクーヘンやJA御殿場の干し芋とともに販売を開始しました。

更に小山町の知名度と商品の開発及び認知度の向上に向けて、周辺市町との連携による幅広い展開も検討していきます。

(3) 民泊システムの導入の検討

静岡県では、2018年6月から施行された住宅宿泊事業法に伴い、適正な実施を図るために条例を制定しました。

静岡県の条例では、生活環境等の悪化を防止するため、小中学校等の周辺や住居専用地域での区域制限が設けられましたが、当町では既存の宿泊業者等への影響等を考慮しながら、農泊等のしくみづくりを検討していきます。

(4) 協働による展開

小山町観光振興計画では、行政や観光協会、商工会、事業者、行政団体などがそれぞれの役割を担いながら、目標を共有し、共に力を合わせて協働で各施策に取り組んでいくこととしています。

今後、町民の理解と参画を得るため、民間団体が主体となった実行部隊を組織し活動していくことが望まれます。またクアオルト健康ウォーキングに取組み、健康面のみな

らず町外からの集客にも活かしていくことや、富士スピードウェイなど町内の大規模施設、そこで行われる各種イベントと、町内団体の連携・協力により、町民が参加することによる施設や催事の活性化、来町観光客と町民の交流などを推進することが望めます。

(5) 地域文化の醸成

小山町には、豊門公園や森村橋といった殖産興業遺産や各地域の伝統的なお祭り行事の他、新しい文化として町内で定着しているフィルムコミッションの活動があります。

これらの近代文化と新文化を融合させ、地域色豊かな資源を発掘、活用、継承しながら地域文化を育てていくことが望めます。

(6) 観光客のスマホ利用対応等情報環境進化への対応

宿泊・食事・アクティビティの検索や予約、事前や現地での地域情報入手、ナビゲーション、キャッシュレス決済など、観光に係る多くの側面でスマホ利用が急速に進んでおり、町内の各種施設や体制においてこれらに対応することが極めて重要ですが、個々の対応には限界があるため、町全体での取り組みを考慮する必要があります。

また、本町では道路や各種観光施設の整備が進んでいるため、これらに係る観光情報を常に更新し、町民にも周知していく必要があります。

(7) 殖産興業遺産の活用

現代にいたるまでの地域の近代化の象徴である豊門公園や豊門会館、森村橋などを整備し、殖産興業遺産として文化面のみならず観光面においても積極的にPRし、地域活性化の中心とすることが望めます。

4 次期小山町観光振興計画及びアクションプランの策定

現在の小山町観光振興計画及びアクションプランの期間は平成31年度までとなっていました。上位計画である小山町総合計画の策定期間と足並みをそろえるため期間を1年延長し令和2年度までとしました。令和2年度中には次期（令和3年度～）の観光振興計画及びアクションプランを策定する必要があります。

オリンピック・パラリンピックの賑わいを一過性のものにならないために、次期計画ではポストオリンピック・パラリンピックにおける自転車活用推進計画の策定により、自転車を活用した観光振興策の方針を定めるとともに、急速に進む新東名など観光インフラの整備をふまえて、新たな小山町のエリアブランドの確立を図っていくことが望めます。

また、豊門公園など町内各所で交通基盤や観光拠点施設の整備が進んでおり、これらを踏まえた新たな目標設定や、町内の各地域別目標も必要とされます。一方で大規模な開発も進むなか、環境に配慮した持続可能な目標（例：SDG's）を持つことも考慮する必要があります。

さらに、富士山の広域的な観光PRによって効果的な集客を図る方策について検討していきます。